

2015.8.7

ボランティアグループ「高取町ご意見番」

代表幹事 中西宏次様

高取町議会議員 新澤明美

公開質問状への回答

政府は地方創世の政策を打ち出していますが、そもそも今日の少子高齢化や地方の疲弊を招いてきた原因はどこにあるのでしょうか。ここでは、私なりに高取町のまちづくりについてその一端を述べさせていただきます。

住みやすい町にするには、くらしや社会保障などの生活基盤を充実し、地域経済を発展させると共に雇用を確保することが重要であると考えます。

くらしの問題では、こども・保護者・障害者・高齢者などが集う場をつくり、専門家と住民のネットワークのもとで、様々な活動を展開する。個別には、公共交通を初めとした高齢者対策や子育て支援の充実、暮らし全般の住民負担を軽減することが今重要なのではないのでしょうか。

地域経済の発展については、豊かな自然・観光・農業を生かす取り組みが中心となるでしょうが、特に農業においては、農地の共同管理と生産・景観保全・農業体験・民泊など。安全な食と健康という観点から、学校給食での地元産農産物の利用・保健や介護予防事業との連携もできるのではないのでしょうか。

雇用については、それぞれの発展的な活動と共に確保、特に福祉施設を初めとする社会保障の充実により雇用を確保する。

そして、住民自治と民主主義を定着させていくことが、住みよい持続可能な町に繋がるのではないかと考えます。